

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1475500821
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム有馬
訪問調査日	平成19年6月12日
評価確定日	平成19年7月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1475500821
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム有馬
所在地	216-0002 川崎市宮前区東有馬5-21-24 (電話) 044-870-6299

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成19年6月12日	評価確定日	平成19年7月31日

【情報提供票より】(平成19年6月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	8 人, 非常勤 10 人, 常勤換算 12 人

(2) 建物概要

建物構造	モルタル 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6月11日現在)

利用者人数	18 名	4 名	女性	14 名
要介護1	名	要介護2	6 名	
要介護3	5 名	要介護4	3 名	
要介護5	4 名	要支援2	名	
年齢	平均 83 歳	最低 70 歳	最高 96 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山本記念病院、有馬歯科クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの経営は(株)愛誠会で、この会社は全国に薬局を展開し、福祉施設の経営で薬品・医療・福祉の運営を目指し、福祉では埼玉のデイサービス、静岡を含め3ヶ所のグループホームを展開している。医療に強みを持つホームで、系列の愛誠ケアメソッドからマッサージが、山本記念病院からは往診とPTによる訪問リハが訪問し利用出来る。医療連携加算は設定当初から認定を受け、ターミナルケアに関してはご家族に説明し、希望される方からは同意書を頂いて対応を実施している。ターミナルケアなど自力入浴が難しくなった方への対応として、1Fの浴室には機械浴設備を設置している。介護計画の見直しについても必ず看護師が同席するなど医療面での対応の良さが目立っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価でもホームが自然体で動いていて良い雰囲気を作り出していたが、現在もその体制は続いている。「介護する」雰囲気ではなく「一緒に生活している感じがとても良いので何かかと思えば壁を見ると、「グループホームに求められてたスタッフの態度」「認知症高齢者への接し方」なるものが箇条書きで貼られていた。こういった日々のたゆまぬ努力が、努力として見えない自然な形のケアに繋がっていると思われた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の外部評価に先立ち事前ミーティングを持った。特に今回は1F,2Fフロアのユニットリーダーが決まり、ホーム長の変更が予定されている中でホーム長中心の評価ではなく、各職位で評価の意義を理解するようにした。事前ミーティングでは前向きな意見が出され、ホームのありのままを見てもらいたいと言う集約になった。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議については宮前区からの指導も無く、地域包括支援センターからの連絡も無いので、まだ開催が出来ていない。地域的に自治会活動が見えにくい地域で、商店会の会員で、入り口に会員証が貼ってあり、近所の薬局が商店会長で、関係も深いのですが、さて自治会との関係はとなると疑問符がつく状態です。これが多分この地域の実態と思われるので、この運営推進会議を手がかりに地域へのパイプ作りを提案した。区や地域包括支援センターに働きかけこの作業に協力してもらおうと良いと思われま。地域個々との連携は出来ている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族との連絡や意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映などについては充分に対応を心がけている。利用者さん毎に居室担当者を設置して、ホーム長、ユニットリーダー、ケアマネジャー、看護師と連携してご意見を聞き、介護計画に反映するようにしている。ご家族には月1回必ず連絡して状況をお伝えし、「はなまる通信」を年4回発行し状況をお知らせしている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>商店会との連携は深い。区、社協などのボランティアの活用とともに、ご家族にも協力を頂いている。保育園との交流や、特別養護老人ホーム「富士見プラザ」との交流が始まっている。地域的には有馬団地(古い市営団地)、東有馬商店会、一般住宅が混在する地域で地域との一体感を作りにくい地域である。運営推進会議を手がかりに少し広い範囲での地域活動を考えなくてはいけない地域であると考え。</p>
重点項目④	

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業者、ホーム全体及び各フロアで理念を持ち、近隣の野川保育園への訪問及び近隣の食事処、雑貨店、薬店との接触を心がけている。	○	現状、地域との点の付き合いであるが、運営推進会議の活用により、地域の幅を広げてより多くの方々との接点を設けて行きたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	企業理念及び事業所理念又各フロア方針を掲げ日々取り組んでおります。		地域密着型サービスの本質を知り、展開を目指して努力して行く。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	商店会組合員に入って居り、地域の行事に参加したり、又食事処からの情報等で近隣の自治会行事にも参加して居ります。		地域的に自治会活動が見えにくい地域で、商店会の会員で、入り口に会員証が貼ってあり、近所の薬局が商店会長で、関係も深い、さて自治会との関係はとなると疑問符がつく状態である。これが多分この地域の実態と思われるので、この運営推進会議を手がかりに地域へのパイプ作りを提案した。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価に当たり、評価内容についてスタッフ全体とリーダーで改善すべき所など常に話し合いし取り組んでいる。運営者とは通信を利用して報告及び指導をして貰っている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	ホーム関係者の定期的運営会議を開催し、利用者へのサービス、現状報告、評価の取り組み方等参加者で話し合いを行なっている。	○	地域の運営推進会議はまだ実施出来ていない。、商店会と自治会との関係の明確化を含めて地域包括支援センターと相談しながら実施して行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>機会が有るごとに窓口で顔を出し、サービスの質の向上を図る為、情報を常に入手している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に健康状態、金銭的、職員の移動等を常に報告している。又 定期的に通信新聞を発行し写真入りで報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等の意見、不満、苦情等を聞き、管理者とスタッフで話し合い、原因を探り、今後の質の向上運営に参考にしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様及び家族への配慮を考え、馴染みのスタッフを移動、離職の無いよう心がけている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階に置いてスキルアップ出来る様に外部研修の参加を推進している。</p>	○	内部研修も従来と通り行なって行く。
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との話し合い、同区内の姉妹施設との話し合いを設け、相互訪問等行っており、サービス向上に努めている。</p>	○	その他、近隣の特別養護老人ホーム「富士見プラザ」などの施設との交流があり、交流の幅をより広くしたいと考えている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりではなく、馴染んで来た時点で、本人の納得、家族の了承の元での入居を心がけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	擬似家族の為、本人が出来る事を一緒に、義務では無く本人が積極的に動いて貰える環境作りをしている。又利用者がスタッフを心配して貰える信頼関係を築く事に努力をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとり希望や意向を会話や行動で把握し、意向添える様に努力をしている。困難の場合は本人と納得の行くまで話し合いを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の状態を見極め、把握した上で本人及び家族と打ち合わせて具体的に利用者主体の暮らし方のケアプラン作成している。状況変化に伴い見直しを行なっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しを行い、本人及び家族とのずれも生じらぬように期間を問わず変更を掛けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の意向で、安心のできる生活出来る様に多様な支援サービスを利用して貰う方向で進めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週に一回の訪問受診をやまびこクリニック契約しており、健康管理を徹底している。家族に来所時にその旨の報告を行なっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	その状態の利用者がでた場合は週一のケアカンファレンス時にスタッフ及び管理者で終末期に向かったのケアの方法を家族と医療機関の連携の下で考えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛けは個人を尊重し誇りやプライバシーに関する件はしない様に指導し、記録等の個人情報も記載しない事になっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の都合優先で事を進め支援をしている。スタッフの都合で希望に添えない場合は、本人に添えない旨納得いくまで説明をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフと共に会話をしながら同じ食事を楽しみながらしている。食事の準備や後片付けは、出来る方にお手伝いをしてもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望及び時間に合わせ入浴をしてもらっている。自分で意思決定出来ない方は間隔を見て誘導を行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活暦を確認した上で各利用者様に役割分担を決め日々行なってもらっている。何が楽しみごとだったかを確認の上、希望に添える様支援を行なっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近くの公園やお寺さんに午前中に散歩に出かけており、天気の良くない日は車でドライブに出かけている。車イスの方や寝たきりの方はやはり車イスにて近隣を散歩しに出ている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	閉じ込めによる精神的弊害を理解し、施錠はしていない。外出傾向に有る方はスタッフの見守りや連携プレーを取り、スタッフが付き添いをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難時の個々の担当を決めマニュアル化している。	○	避難訓練は近々実施予定である。又近隣の方々との連携はまだ取れていない為、運営推進会議等を通じて、今後連携が取れる様にして行く。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量、水分量を食事・水分・トイレ表の時間帯で管理、栄養バランスは献立表で管理	○	今後栄養バランスの確認の為、資格有る方に見て頂く様計画中である。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、リビング、廊下等にカレンダーや絵や花を飾り雰囲気作りを重視している。季節に合わせた雰囲気作りも心掛けている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前より使用しなれた家具や身の回り物品や以前の部屋の配置をご家族に依頼し整えている。		

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 愛誠会
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	川崎市宮前区東有馬5-21-24
記入者名	辻ト 晴香

2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

8

V. サービスの成果に関する項目

13

合計 100

(管理者)

村上 邦平

記入日

平成 19 年 6 月 11 日



地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業者及び各フロアで理念を持ち、野川保育園訪問及び近隣の食事処、雑貨店、薬店との接点を設けてお茶を頂ながら話しをして頂いている。	○	地域の幅を広げてより多くの方々との接点を設けて行きたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	企業理念及び事業所理念又各フロア方針を掲げ日々取り組んでおります。		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	企業理念及び事業所理念は玄関に記載し、フロア方針は各フロア事務所に記載し家族の方々に理解して頂きたく取り組んでいます。地域では口頭のみで努力中です。	○	今後、パンフレット等を作り、地域の皆さんに幅広く理解して頂ける様に努めて行きたい。
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の町内会委員長(雑貨店)及び地域巾広い大家さん(市政との接点有る方)、食事処ママさん等常に立ち寄り、挨拶等交わして居ります。	○	其の方々を通じてもう少し幅広く近隣を輪を持って行きたいと考えて居ります。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会組合員に入って居り、地域の行事に参加したり、又食事処からの情報等で近隣の自治会行事にも参加して居ります。		

6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>姉妹施設が近くの有る為、交流を儲けてお互い職員の情報交換し日々努力している。他の施設の方々と接点を設けてケアサービス方法等話し合いを行なって居ります。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス評価に当たり、評価内容についてスタッフ全体とリーダーで改善すべき所など常に話し合いし取り組んで居ります。運営者とは通信を利用し報告及び指導をして貰って居ります。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的運営会議を開催し、利用者へのサービス、現状報告、評価の取り組み方等参加者で話し合いを行なって居ります。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>機会が有るごとに窓口で顔を出し、サービスの質の向上を図る為、情報を常に入手して居ります。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		○	今後、職員に対し勉強を推進させて行くように致します。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止関連法を学び、日々念頭に置き対利用者様に接する様に努力しています。虐待が起こらないに事業所より周知徹底通達されています。</p>		

4. 理念を実践するための体制

12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時内容を全て読み上げて説明し、金銭的にも納得して頂き、理解をして貰い、時間を十分に取って契約をさせて頂いて居ります。</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見、不満、苦情等の意見を聞き、スタッフで話し合いの上、理に適っている件に関しては、意見、不満、苦情を解決する様にして居ります。理に適わないものは家族に報告し意見を確認した上で行なっております。</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪来に健康状態、金銭的、職員の移動等を常に報告して居ります。又 定期的に通信新聞を発行し写真入りで報告を行なっております。</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等の意見、不満、苦情等を聞き、管理者とスタッフで話し合い、原因を探り、今後の質の向上運営に参考にさせて頂いて居ります。</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週一のケアカンファレンス時にスタッフ及び管理者で話し合いを行い、その意見を運営者と管理者で話し合いを行い、運営に反映させて行くシステムに成っております。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様及び家族の状況変化、急変等に併いシフト変更を柔軟に行なっております。</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様及び家族への配慮を考え、馴染みのスタッフを移動、離職の無いように必要最小限の配慮を考えて実施しております。</p>		

5. 人材の育成と支援

19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>段階に置いてスキルアップ出来る様に外部研修の参加を推進しております。</p>	○	<p>内部研修も行なっていました。最近途絶え気味の為、再開を考慮を考えて居ります。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との話し合い、姉妹施設との話し合いを設けており、相互訪問等行っており、サービス向上に努力を重ねて居ります。</p>	○	<p>その他の施設との交流を幅広く設けたいと考えて居ります。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>福利厚生利用、本社イベント参加、月一の飲み会等ストレスが蓄積ない様、環境作りをして居ります。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は管理者を、管理者は個々の職員を管理し日々の努力、実績、勤務状況の把握で向上心が出る様に職場環境、条件を整備し働き易い職場作りを行なっています。</p>		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>依頼が有った時点で、家族及び本人に面接を行い、本人及び家族の困って居る事、心配事等を三者面談を行い聴きだしを行なっています。又 本人、家族と二者面談も平行して意向を聴き出しも行います。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>依頼時点で直接接して家族の意向を聴き出し、初期段階で信頼関係を築き上げる方針で行なっています。</p>		

25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設での提携している支援体制の説明及びサービス利用の説明をし同意書入手しております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりではなく、馴染んで来た時点で、本人の納得、家族の了承の元で始めて行くようにしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	擬じ家族の為、本人が出来る事を一緒に義務では無く本人が積極的に動いて貰える環境作りをしています。又、利用者様がスタッフを心配して頂ける信頼関係を築く事に努力をして居ります。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	施設が一方的で無く、家族の支援と共に家族と一緒に成り支援して行く事を念頭にして本人を支えて方向で進めて居ります。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族に配慮しながら、本人の意向の元で、家族と本人の絆を大切に出来る様支えて方向で進めて居ります。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の歴史を家族より把握し、知人や友達等連絡を援助し、家族の協力の下で訪問及び来所をして貰い、関係を続けて貰う方向で取り組んで居ります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の関係を把握し、孤立化がない様に話し合いを進めたり、出掛ける相手を決めたり、仲裁に入ったりして、関係を大切に保つ様に日々努力しています。		

32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>契約終了後も家族と連絡を取り、家族の信頼を取り付けて、其の家族近隣家族に口込みで新規を取り付けて行きたい。</p>		
<h3>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</h3>				
<h4>1. 一人ひとりの把握</h4>				
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとり希望や意向を会話や行動で把握し、意向添える様に努力をして行く。困難の場合は本人と納得の行くまで話し合いを行って行く。</p>		
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの独自性や生活歴、個性を家族や本人から把握し、同等に近い環境で生活を送れる様に環境を整備する努力を重ねている。</p>		
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの過ごし方の把握をし、本人のリズムに合わせた生活作りをしている。体調不順の場合は体調に合わせたリズムで生活を送って貰える様にして居ります。</p>		
<h4>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</h4>				
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の状態を見極め、把握した上で本人及び家族と打ち合わせて具体的に利用者主体の暮らし方のケアプラン作成して居ります。状況変化に伴い見直しを行なって居ります。</p>		
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間に応じて見直しを行い、本人及び家族とのずれも生じると思うので期間を問わず変更を掛けていく予定です。</p>		

38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>センター方式の記録で実施しております。時間的な記録を持って今後の実践の参考にしております。其れに合わせケアプランの見直しに活かして生きたいと考えて居ります。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の意向で、安心のできる生活を出来る様に多様な支援サービスを利用して貰う方向で進めて居ります。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>本人の家族や家族の友達、近隣のボランティア、警察、消防、移動図書館等、家族や本人希望で実施や訪問等行って居ります。</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>必要性に応じて、以前のケアマネジャーやサービス事業者と協力体制を引いて居ります。又 知人のケアマネジャーの協力を仰いで居ります。</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>現在必要性ない為、活用していませんが、必要に応じて活用を考えて居ります。</p>		
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週に一回の訪問受診をやまびこクリニック契約しており、健康管理を徹底しております。家族に来所時にその旨の報告を行なって居ります。</p>		

44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		○	<p>受診するだけで、詳しい医師と連携を築いて居なかった為、今後鷺沼公園クリニック(精神科)と連携を築き上げて行きたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>非常勤で勤務しており、施設の前に住んでいる為、24時間の緊急時対応が可能です。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>退院に関しては、医療機関と常に連絡を取り、早めに情報を入手し、家族と連携を取り、普段の生活に戻れる様に早期退院を考え実施して居ります。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>その状態の利用者様がでた場合は週一のケアカンファレンス時にスタッフ及び管理者で終末期に向かってケア方法を家族と医療機関の連携の下で考えて居ります。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>その状態を想定して、スタッフの訓練、医療機関の支援等準備をし、施設として変化に応じた対応を準備しております。</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えに当たり、当所に入所時の記録等の情報を次のケア関係者に公開しております。十分な話し合いが出来る様に準備しております。</p>		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援

(1)一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛けは個人を尊重し誇りやプライバシーに関する件はしない様に指導し、記録等の個人情報も記載しない事にしてます。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定を尊重し、本人が出来る事をスタッフと共に共同作業をして頂いて貰ってます。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の都合優先で事を進め支援をして居ります。スタッフ都合で希望に添えない場合は、本人に添えない旨納得いくまで説明をして居ります。		

(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみは本人に確認を取りながら更衣時に確認して支援をしております。理容、美容は家族の協力やスタッフの支援で行なって居ります。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフと共に会話をしながら同じ食事を楽しみながらしております。食事の準備や後片付けは出来る方にお手伝いをして頂いています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の希望する物をスタッフ同行で買い物行って頂き、飲食をして頂いて居ります。他利用者の迷惑にならない様に十分な配慮もしております。		

56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各個人のリズムを把握しており、本人が行きたい時に行って頂いて居ります。失敗してしまった場合は極力傷つけない配慮し、周囲にきずかれない様処理を行います。トイレは常に清潔を保つ様に確認をして居ります。又おむつ使用の方は定期的確認しサインを見落としをしない努力しております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望及び時間に合わせ入浴をして頂いて居ります。自分で意思決定出来ない方は間隔を見て誘導を行なって居ります。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人のリズムや体調で入眠して頂き、休息は行動に合わせて声掛けで行なって居ります。入眠に入れ無い方は、本来のリズムを取り戻しガ出来る様に誘導を行なって居ります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を確認した上で各利用者様に役割分担を決め日々行なって頂いて居ります。何が楽しみごとだったかを確認の上添える様支援を行なって居ります。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や食事(外食)等に本人から支払いをして頂いております。金銭管理の出来ないは施設で預かせて頂いております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近くの公園やお寺さんに午前中に散歩に出かけており、天気の良くない日は車でドライブに出かけて居ります。車イスの方や寝たきりの方はやはり車イスにて近隣を散歩して居ります。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	花見(梅、桃、櫻)、森林浴、紅葉等季節に応じて車で遠でを予定しています。	○	もう少し頻繁に普段行けない所に連れて行って上げたいと指導をして行きます。

63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友達に本人自ら電話を掛けられたり、掛けられない方はスタッフが掛けてあげたり、お話し出来ない方は代わりに要件等連絡を取らせて頂いて居ります。	○	手紙の支援が出来ないで居るため、書く事が出来る方は積極的に支援をして行きます。書けないは代筆で支援を考えて居ります。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	明るい雰囲気作りをしており、気楽に来所出来る様に心掛けて降ります。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束で受ける身体的、精神的弊害を理解し、拘束のしないケアを主としております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	閉じ込めによる精神的弊害を理解し、施錠しない施設としております。外出傾向に有る方はスタッフの見守りや連携プレーを取り、スタッフが付き添いを取って居ります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシーを尊重し日中は声掛けして様子伺いをし、夜間は安全を定期的に確認を行なって居ります。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鋏、ナイフ、マッチ、紐類等一人ひとりにおいて居室担当が把握し状態により事務所で預からせて頂いて居ります。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者様の現状把握し想定出来る事故を常にスタッフでミーティングを行なっております。他に事故防止の為、以前の事故やヒヤリハットを参考に合わせ打ち合わせをしている。		

70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>全てのスタッフが所轄消防署より初期対応の訓練を実施しております。医療関係への連絡網も整備し即対応出来る様にしております。</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>非難時の個々の担当を決めマニュアル化して居ります。</p>	○	<p>非難訓練は実施しておらない為、近々予定を立てます。又近隣の方々との連携はまだ取れていない為、今後連携が取れる様に努めます。</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>個々の家族に起き得るリスクを常に来所時、電話等で行って居ります。変化に伴い順次見直しを図って居ります。</p>		
<p>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>				
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調変化を速やかに感知出来る様に利用者様の定期的なバイタルチェックや食事量等常に見守りを行なって居ります。情報は共有化しており、異変が生じ場合は当所の看護師と提携医療に連絡をとり対応を仰ぎます。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>各スタッフが薬の目的や副作用を理解し、新たな薬は医師からの説明(医療ノート)と薬剤の明細書で確認を行なって居ります。</p>	○	<p>薬剤の勉強会を今後企画し実行をして行く予定です。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘予防に食材やメニューを工夫し日々努力しております。自然排便する様個別に運動を促しを行なって居ります。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後個々に応じて口腔ケアを各スタッフが医師の指導を受け実施しております。一人ひとりの状態を把握し出来る事は自分で行って頂いて居ります。義歯管理は施設で行なって居ります。</p>		

77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量、水分量を食事・水分・トイレ表の時間帯で管理、栄養バランスは献立表で管理	○	今後栄養バランスの確認と為、資格有る方に見て頂く様に調整いたします。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関して厳しく予防と早期発見、対応を徹底させて居ります。定期的に看護師の勉強会を開いて居り、スタッフ全員が周知しております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の消毒、賞味期限の管理、新鮮な食材の使用、常に回転させ日付け記入を徹底指導しております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家族の方々には24時間何時でも来て頂いても問題無い旨アナウンスをしており、近隣の方々も入りやすい環境作りを行なって居ります。玄関前に歌壇を設け明るい環境にしております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、リビング、廊下等にカレンダーや絵や花を飾り雰囲気作りを重視しております。季節に合わせた雰囲気作りも心掛けて居ります。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に独りになれるテーブルを据え、独りに成りたい時は利用して頂いて居ります。又仲間同士で居られるテーブル配置を心がけて居ります。		

83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>以前使用しなれた家具や身の回り物品や以前の部屋の配置をご家族に依頼し整えて居ります。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気は24時間始動させ、空調は温度管理を徹底させて居ります。又天気の状態を見て窓開放を常に行なって居ります。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>主にバリアフリーと成って居るがなおかつ安全な歩行が出来るようスタッフで話し合いを行い、実行している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>レベル低下に沿って新たに手すりの設置、福祉器具の利用し自立を促し生活を送って貰って居ます。</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>屋上、玄関先等で外気浴、日光浴など戸外空間を利用し活用する。</p>		



V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

